

NIIオープンフォーラム2023 認証・RCOS合同トラック
Verifiable Credentials を学んで議論に参加してみよう-

OSAKA KYOIKU
UNIVERSITY

ラーニングエコシステムと デジタルバッジ

大阪教育大学

学長補佐・特任教授 堀真寿美

© 2023 Masumi Hori

あらまし

1. オープンバッジの発展と課題
2. 大阪教育大学での実証実験
3. オープンバッジの展望

オープンバッジのこれまで

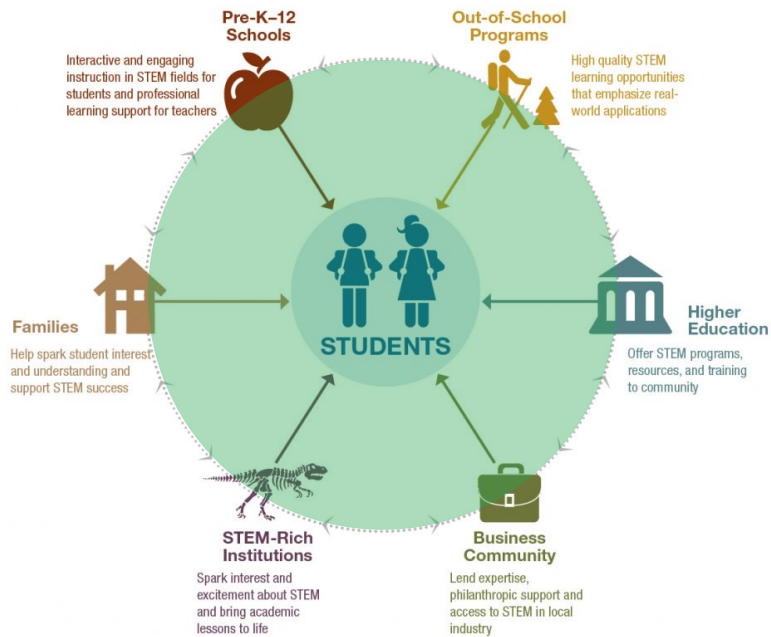
- Mozillaが開発したデジタルバッジ
 - デジタル証明書を埋め込んだバッジを模した画像
 - フリーかつオープン
 - だれでもデジタルバッジを作成，発行，承認可能
- 現在は1EdTech(旧IMS)が仕様を策定



オープンバッジのポテンシャル

ラーニングエコシステム

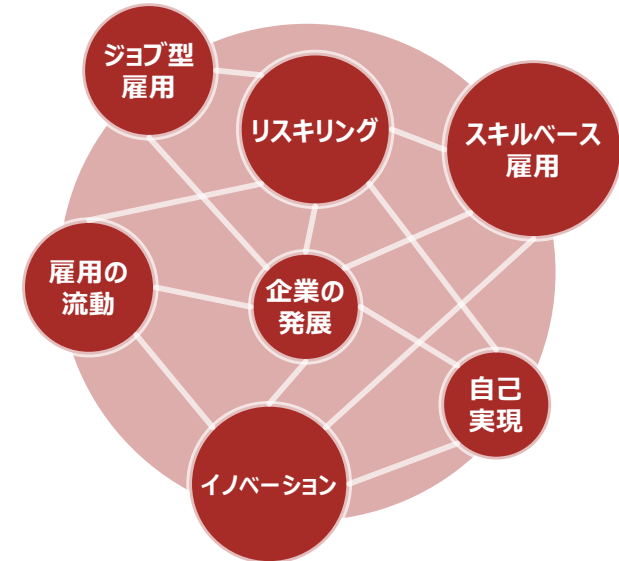
学校の内外の様々な文脈で派生する学習体験



様々な学習成果

- 学校の内外
- 見過ごされていた学び
- 生涯にわたる学び

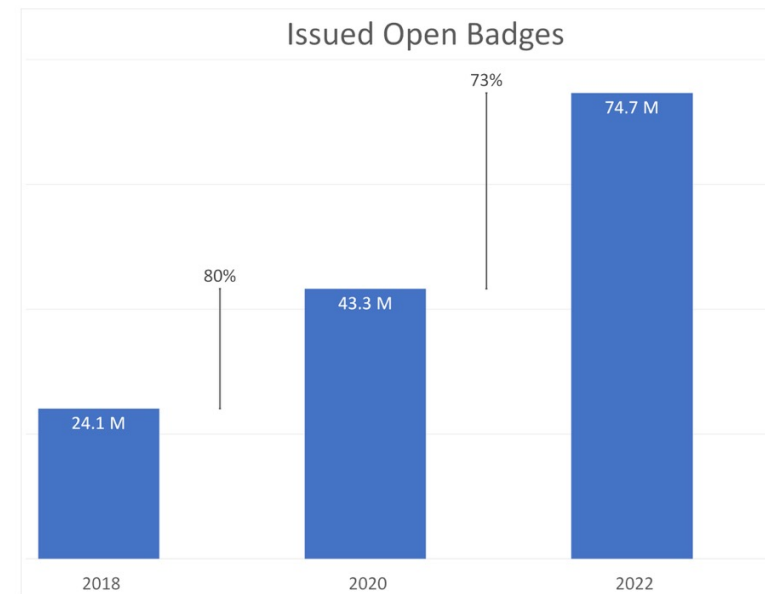
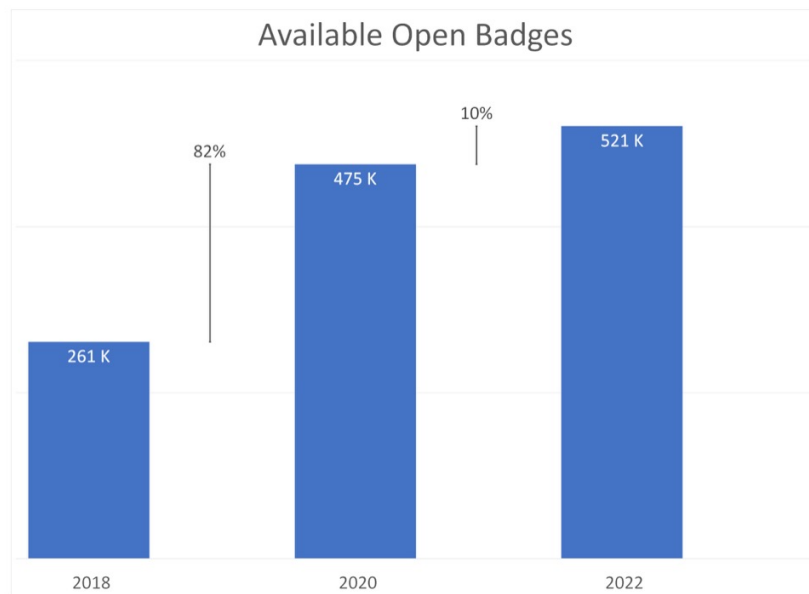
人材のエコシステム



学歴社会から学習歴社会へ

オープンバッジの成功

52万種類のバッジが7400万以上発行されている



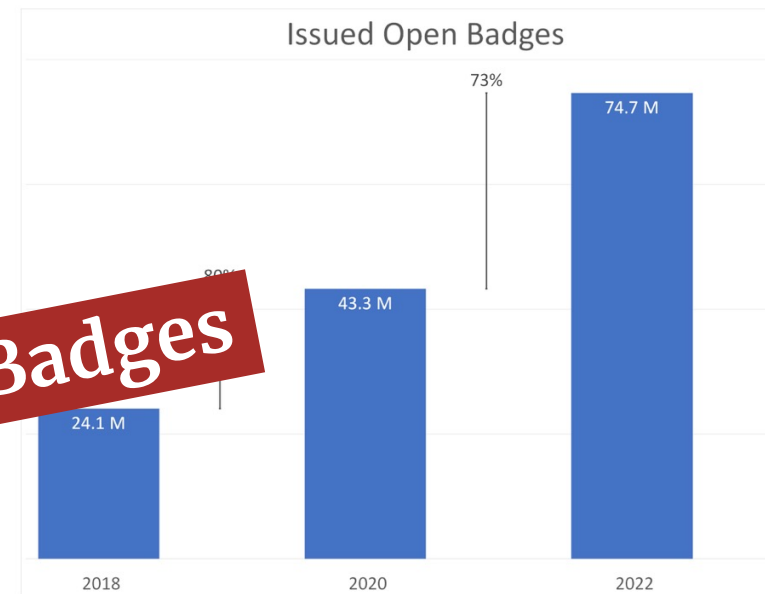
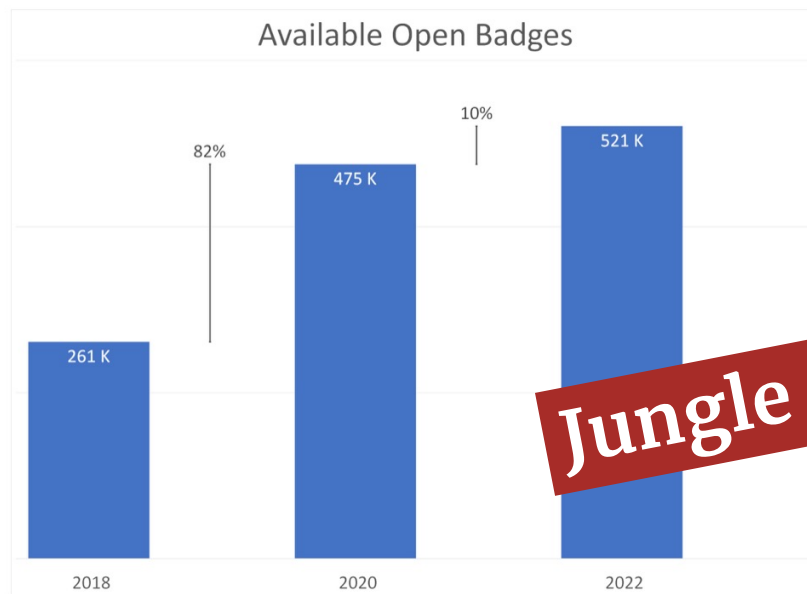
1EdTech, Summary of Findings
<https://content.1edtech.org/badge-count-2022/findings>

オープンバッジの危機

52万種類のバッジが7400万以上発行されている

4194大学の卒業単位（124単位）が約60万人にバラバラに発行されている

2019年度の大学（学部）の卒業生数は約56万人



Jungle of Badges

1EdTech, Summary of Findings

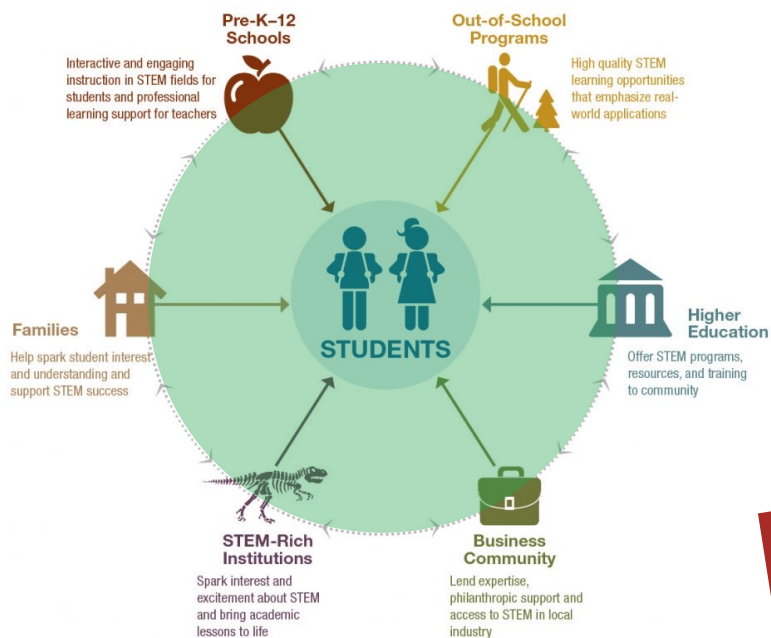
<https://content.1edtech.org/badge-count-2022/findings>

Digital credentialing: implications for the recognition of learning across borders

<https://unesdoc.unesco.org/ark:/48223/pf0000264428>

エコシステム間の接続が欠落

ラーニングエコシステム



標準化
構造化

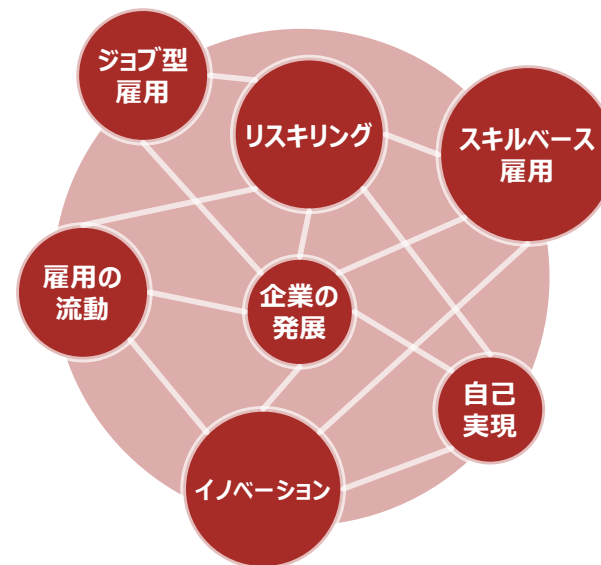


様々な学習成果

- 学校の内外
- 見過ごされ

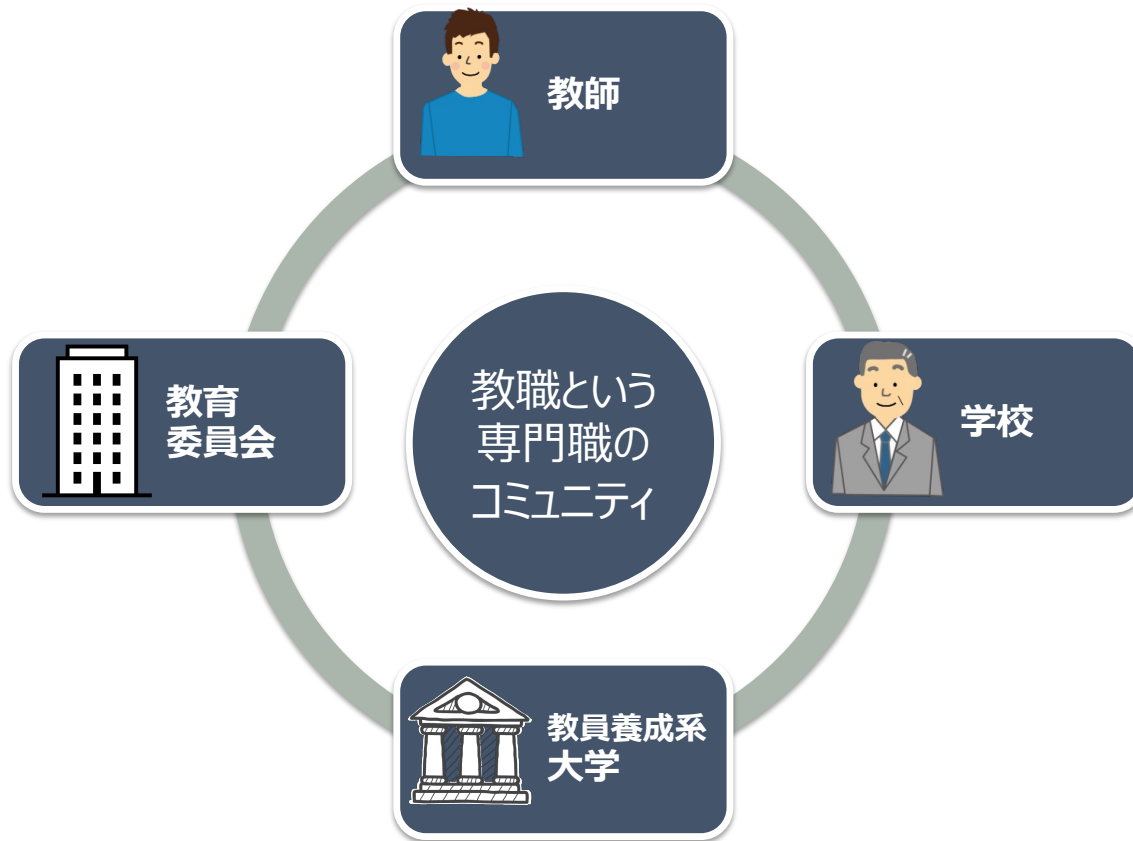
有用性に乏しい
学習成果

人材のエコシステム



大阪教育大学の実証実験

専門職のコミュニティを利用すればエコシステムが接続できるのでは？



■ 専門職の特徴

- 国家資格を必要とする場合がある
- 必要な知識や技術が体系化されている
- 職業上の目的・課題が共有できている
- 社会の進展に対応するため、学び続けることが求められている

教職のコミュニティで学びを保証と評価

ラーニングエコシステム

知見・研究・実践の蓄積



教材の開発

- 講義ビデオ (10分)
- 講義ビデオ (10分)
- 講義ビデオ (10分)
- 課題・演習 (15分)

対面研修



知識バッジ



学びの証明

学びの整理・体系化

能力バッジ



教師



人材のエコシステム

現場の課題・ニーズの蓄積



裏書き

学びの保証

学びの認定

成果の認定

法定研修
自主研修

学校



連携

大阪市教育委員会との実証実験

■ 期間

- 令和4年8月1日～1月10日

■ 実証の方法

- デジタルバッジの提出により中堅教員研修の一部を代替可能とする
- 提供科目は全15科目、受講科目は自由
- 知識バッジの数により代替できる研修数を決定

通常の対面研修
or
オンライン研修
を自由に選択



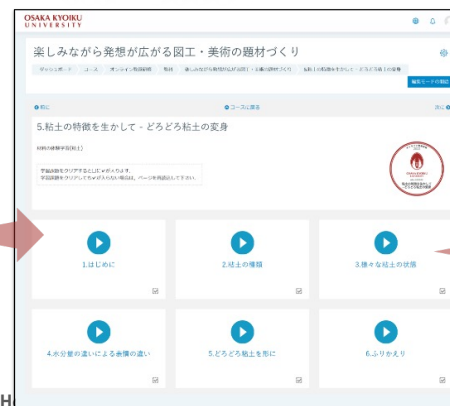
【実証実験サイト】



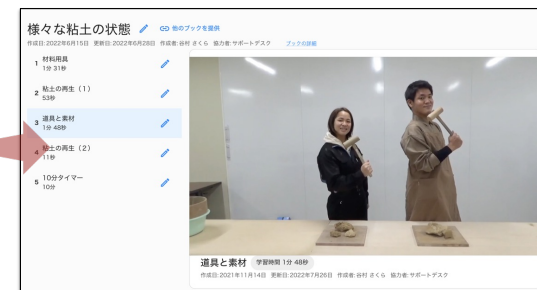
【能力バッジと知識バッジ】



【マイクロコンテンツ】



【講義ビデオ】



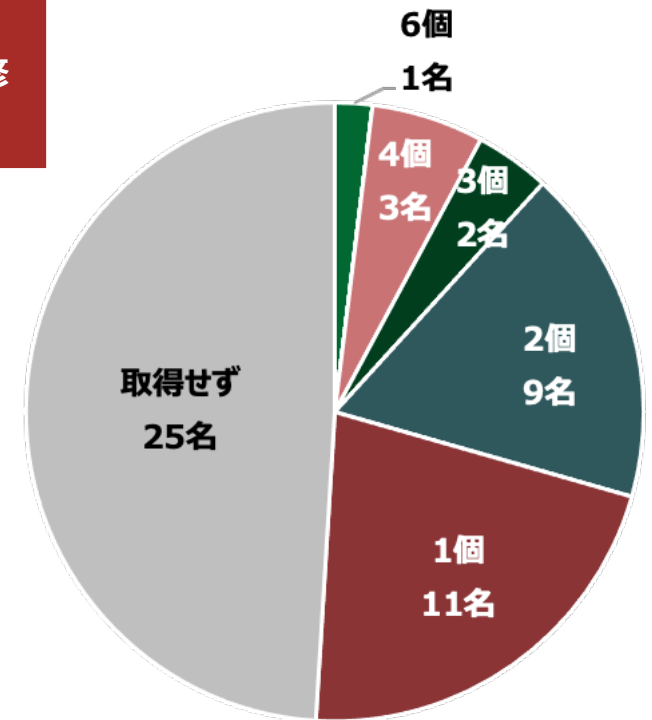
実証実験結果

受講状況

受講対象者数	約360名	
受講者数	52名	受講対象者の14.2%
バッジ取得数	26名	受講者数の51.0%

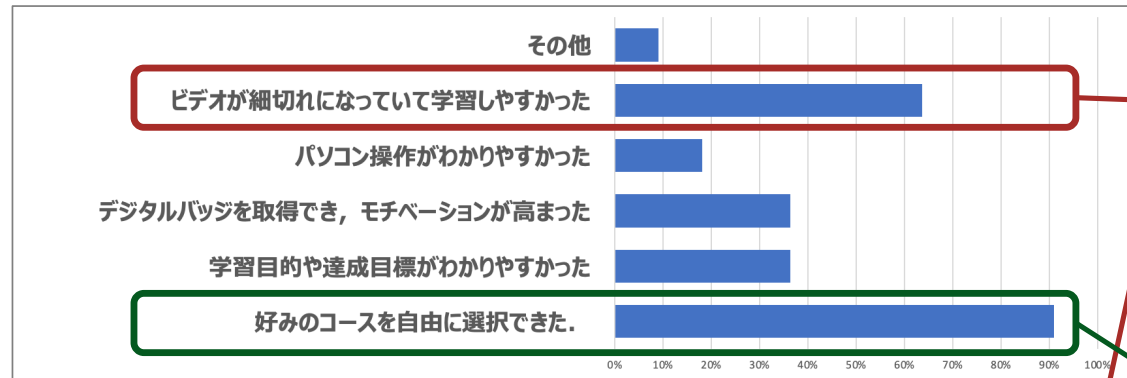
残りの人は
通常の対面研修
を選択

バッジ取得状況



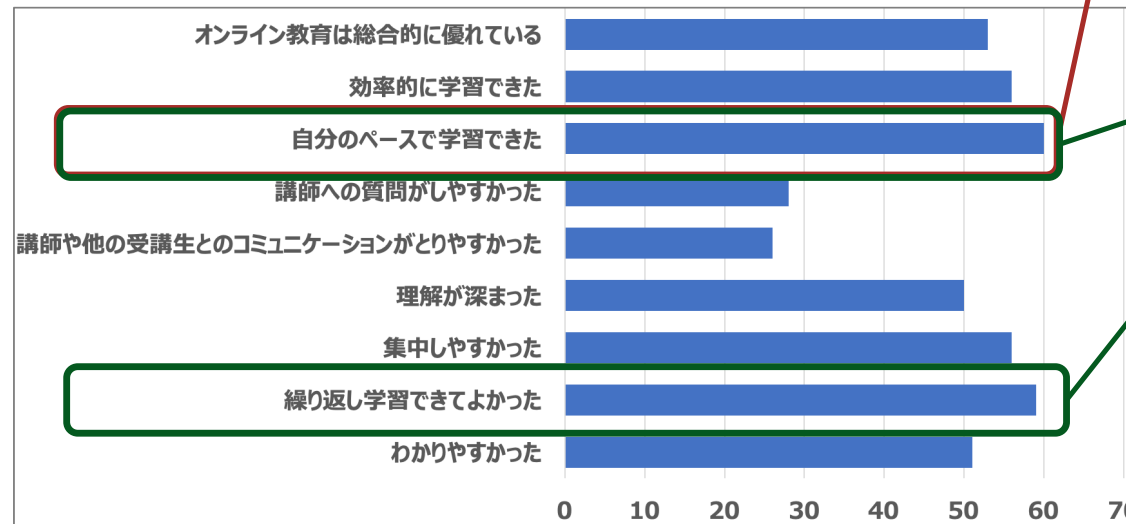
バッジ積上げの効果

満足した点



時間・労力の負担を軽減

対面研修より優れている点



主導的な学び

デジタルバッジの効果

■ 学習者のメリット

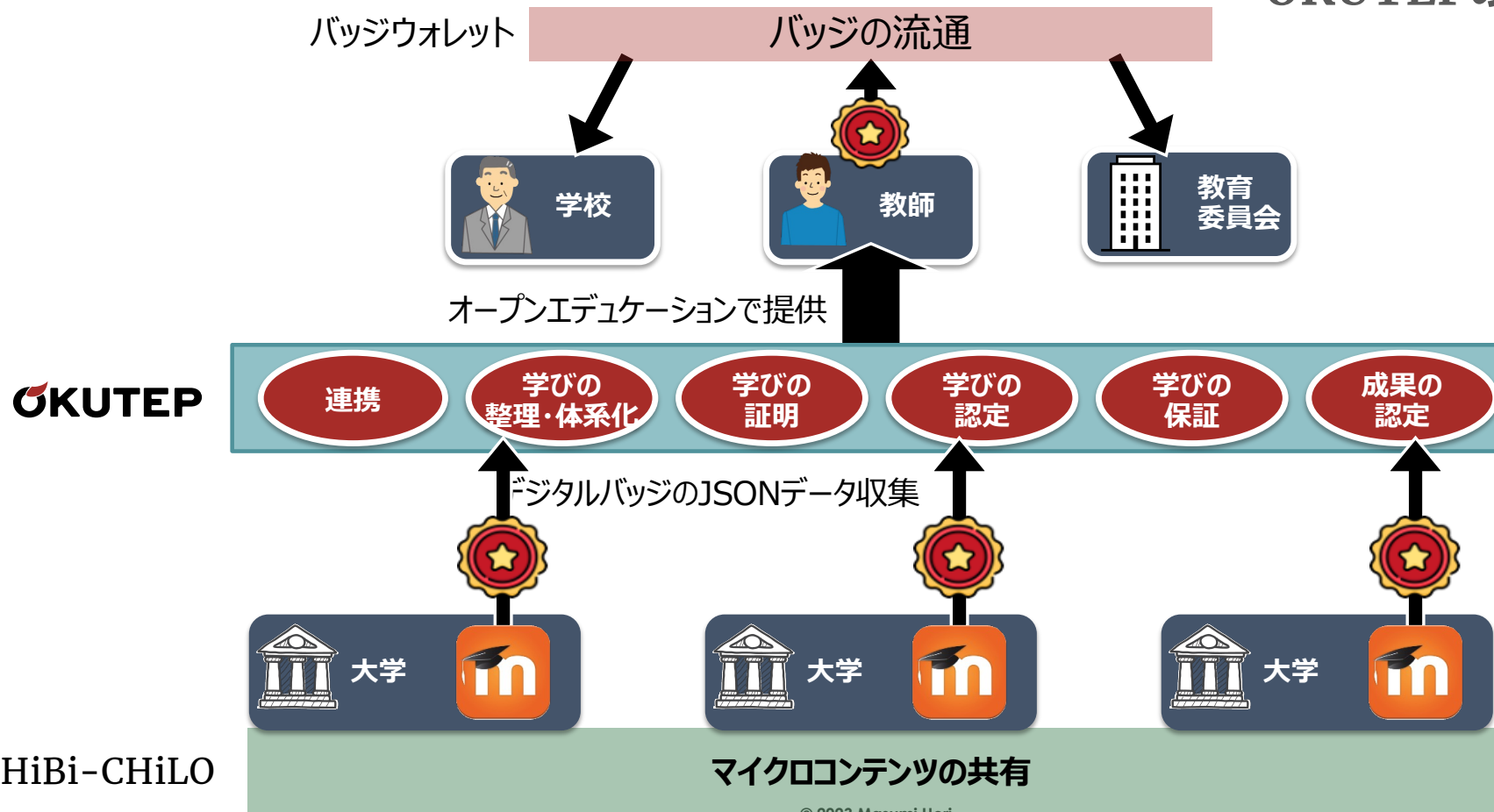
- 研修成果の見える化
 - 学習修了確認の問合せはゼロ
- 細切れの学習を積上げ体系的な知識を習得できる
- 本人の判断で、デジタルバッジを提出するかしないか決められる

■ 教育提供者

- 個人情報取り扱いに関するコストを軽減
 - 大阪市との受講者一覧のやりとりなし
 - 受講登録作業なし
- 低コストで大規模な学習者への提供可能

令和6年の予定

教員研修のポータル
OKUTEPの本格運用開始



OKUTEP



- 色々な方法で能力バッジを獲得できます
- ✓ 試みに受講してみる
 - ✓ カテゴリから探せる能力バッジ
 - ✓ 教員育成指標から探せる能力バッジ
 - ✓ その他のコンテンツ

初めての方へ [学べるしくみ](#) [OKUTEPのメニュー](#)

OKUTEPは誰もが自由に学べるオープンな学びの場です

カテゴリから探せる能力バッジ

学術的な観点をもとにして各自治体の教員育成指標も参考にしながら、オンライン学習で習得できる内容を「カテゴリ」として整理しました。

🔍 能力バッジとは？

<p>授業づくり</p> <p>特定の教科によらない、一般的な教育方法や授業案について学びます</p> <p>能力バッジ 2個</p>	<p>教科等指導力</p> <p>各教科の指導法や、その指導内容について学びます</p> <p>能力バッジ 4個</p>	<p>子ども・人理解</p> <p>人のこころのメカニズムの理解や、それに応じた人と人の関わりについて学びます</p> <p>能力バッジ 4個</p>
<p>教員としての基本的資質</p> <p>教員が職務にあたり、前提として理解しておかなければいけないことを学びます</p> <p>能力バッジ 1個</p>	<p>協働</p> <p>教員が学校の内外で、どのように連携していくのかについて学びます</p> <p>能力バッジ 1個</p>	<p>人材の育成</p> <p>教員としての自他の資質・能力の向上や、その環境の構築について学びます</p> <p>能力バッジ 1個</p>
<p>現代的課題</p> <p>上記の課題以外に、新しく生まれてくる課題について学びます</p> <p>能力バッジ 2個</p>		



大阪教育大学によるバッジの整理と体系化

以下の4つの「知識バッジ」をすべて習得してください

- 知識バッジ**

知識バッジを取得するため以下のような種類のコンテンツがあります。

 - 📺 ビデオ
 - 📄 小テスト
 - 📝 アンケート
 - 🎧 レッスン
- Society5.0により変わりつつある社会**

Society5.0のどのように社会が変わる可能性があるのかを理解する。

知識バッジ

 - 1. はじめに
 - 2. Society5.0とはどのような社会なのか説明できる
 - 3. Society5.0で学校に求められる点について説明できる
 - 4. まとめ
 - 5. 振り返り
- 変わりつつある学校**

GIGAスクール構想について理解する。

知識バッジ

 - 1. はじめに
 - 2. 「GIGAスクール構想」の主旨を説明できる
 - 3. 教員に求められるものを説明できる
 - 4. まとめ
 - 5. 振り返り
- 子どもに求められる資質・能力の変化**

情報モラルについて理解する。

知識バッジ

 - 1. はじめに
 - 2. 情報活用能力の内容について説明できる
 - 3. 情報活用能力の育成の課題について説明できる
 - 4. 情報モラル教育の内容と課題について説明できる
 - 5. まとめ
 - 6. 振り返り
- 教師として求められること**

経験学習、経験学習力について理解する。

知識バッジ

 - 1. はじめに
 - 2. 「経験から学ぶ」ことの意義について説明できる
 - 3. 経験から学ぶ力を高めるきっかけを作る
 - 4. まとめ
 - 5. アンケート

教育委員会による教員育成指標へのマッピングと認定



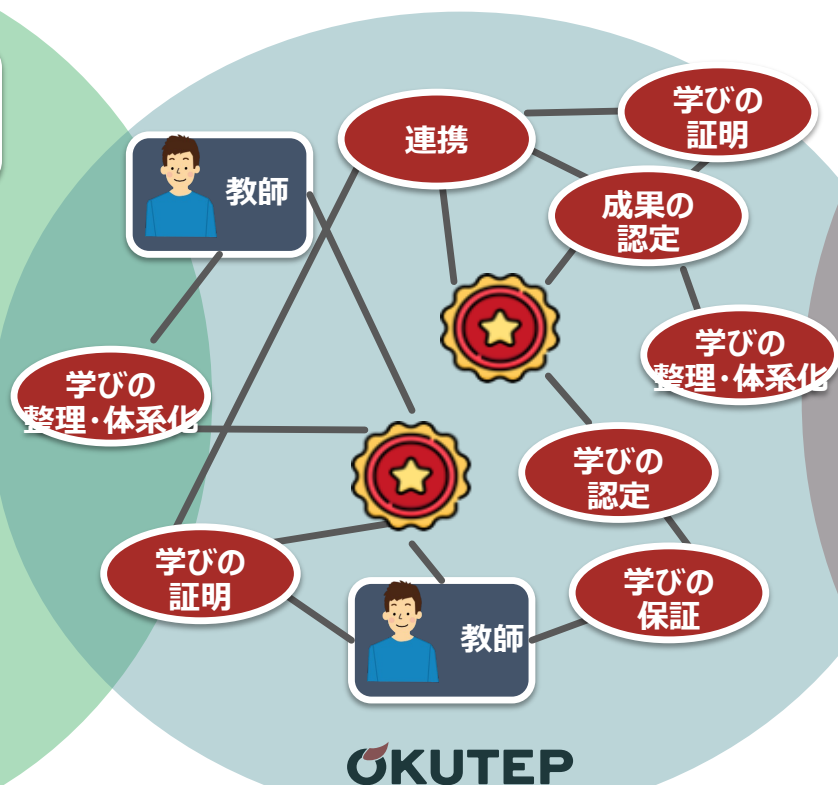
信頼のエコシステムの構築

ラーニングエコシステム

知見・研究・実践の蓄積



信頼のエコシステム



人材のエコシステム

現場の課題・ニーズの蓄積





自ら学び続ける
すべての人々のために
デジタルバッジであなたの学習成果を活用

学びたいキーワード

検索

ログイン

新規登録

色々な方法で能力バッジを獲得できます

▾ 試しに受講してみる